

10・6 アフガン空爆開始から7年 ——いま、アフガニスタンの現状と 新テロ特措法を考える 学習の夕べ

アフガニスタンでのアメリカの戦争を支援するための新テロ特措法延長に行き詰まり、政権を投げ出した福田首相。しかし、自公政権はいまだに臨時国会に延長法案を提出しようとしています。一方、民主党はアフガン国内に自衛隊部隊を派遣する「対案」を…。

アフガニスタンの現状は、ペシャワール会の伊藤さんが殺害された事件にみられるように、戦闘が泥沼化し、「最悪の治安状況」になっています。

この学習会は、10月7日のアフガン空爆開始7周年を前に、アフガニスタンのリアルな現状を知ることにより焦点を当てながら、インド洋での自衛隊の補給活動延長や海外派兵の是非と、憲法9条を持つ日本がやるべきことを考えあうものです。

それは来るべき総選挙でも大きな争点となる問題です。ぜひご参加ください。

●講演 1 米ブッシュ政権の「対テロ戦争」は何をもたらしたか？ アフガン・パキスタンの現状から考える

静岡県立大学准教授・宮田 律さん

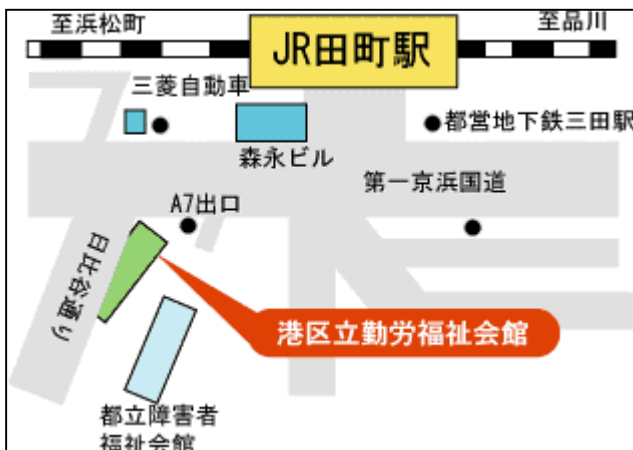
(マスコミにも登場するイスラム地域研究の第1人者。著書に「現代イスラムの潮流」「イスラムに負けた米国」「イラン」など多数)

●講演 2 アフガニスタンでの人道支援活動を通じて自衛隊 の海外派兵問題を考える

日本国際ボランティアセンター (JVC)

東京アフガニスタン事業担当・長谷部貴俊さん

(大学卒業後、他の国際協力 NGO で東京およびカンボジア駐在員。05年より JVC に参加。最近までアフガニスタン現地事務所に。紛争や貧困が無く、人が安心して暮らせる社会 (日本も含めて) をそこに暮らす人々といっしょに創りたいと活動)



会場：港勤労福祉会館

時間：10月6日(月) 午後6時30分
～8時30分

資料代：500円

主催：日本平和委員会、安保破棄中央実行委員会